

研修 評価

研修名	外来における在宅療養支援能力向上のための研修				
領 域	政策提言に向けた 研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	学習段階レベル（Ⅰ～Ⅳ） 募集数(30人)応募数(27人)参加数(27人)会員数(26人)非会員数(1人)				
日 時	令和 6 年 11 月 16 日（土曜日） 12：30 ～ 16：30				
ねらい（目標）	1. 外来看護を取り巻く現状や国の政策について理解することができる。 2. 所属施設の医療機能や地域の実情等から、地域で切れ目ない在宅療養支援を行う上での、自施設が担うべき役割を理解することができる。 3. 1 及び 2 を踏まえて、演習によって在宅療養支援における自身の役割や課題に対する認識を深め、実践力の強化につなげることができる。				
講 師	池田良美 新潟県看護協会 会長				
内容・方法	○講義内容 新潟県における医療情勢 ○研修方法 eラーニングで自己学習をして事前課題を提出。講義と事例検討。グループディスカッション				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標（知識技術）の習得度（できた、ほぼできた）80%以上 ④アンケートの意見 ○参加者数 27 名 90% 【達成・未達成】 ○アンケート結果（回収率 74%） ・理解度 100% 【達成・未達成】 ・自己課題の達成度 99.5% 【達成・未達成】 ○受講者の意見 ・自分が何をしなければいけないのか課題が明確になった。 ・意見交換をすることで自分にはない意見が得られてよかった。 ・ファシリテーターがいることで話し合いがスムーズにできた。 ・事例検討を短縮し各現場の現状の共有をグループワークで行えるとより今後に活かせるのではないかなと思う。 ・スクリーンの字が小さく見づらいところがあった。 ・事前課題を共有する場が欲しかった。				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】・達成しなかった】 ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：妥当である。 ・アンケート結果：参加募集の 9 割の募集があり理解度や課題の理解も高かった。（回収率は 74%でありそのうちの結果ではあるものの 90%以上の理解があったため） ○総括 自分の役割が明らかになり課題も見つけることができたという意見があり今後も継続していく意味はあると考える。しかし、事前課題が上手く活用できていない為、共有する時間を設けると良いと考える。				
課 題	・事前課題を共有できる時間配分を検討する。				
担当者	教育委員				